

平成24年度学校経営計画書及び自己評価計画書

石川県立翠星高等学校
学校長 塩谷 優

1 教育目標

自然と人間の関係を重視した教育を施し、心豊かな人間を育成する。
生徒一人一人の興味・関心に基づく主体的な学習を促し、生涯にわたって継続的な学習をする意欲や態度を育成する。
自己の進路への自覚を深め、積極的な判断力と実践力を養い、社会の変化に柔軟に対応できる資質や能力を身につけ、創造性豊かな人間を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

一次産業の農業から六次産業の農業（総合産業）に視点を移した新たな農業教育及び人材育成が必要となっている。
厳しい雇用環境と農業の六次産業化を踏まえ、更なるキャリア教育の充実・強化が必要となっている。
朝自習「翠星タイム」が定着するなど、落ち着いた学習環境が整ってきているがまだ十分とは言えない。基礎学力の定着・向上を目指して、更なる授業改善に取り組む必要がある。
挨拶やマナーは良くなっているがまだ十分とは言えない。社会人として必要な生活習慣や規範意識、マナー等の向上への取組を更に強化・推進する必要がある。
野球部や食品科学研究会など活発に活動している部や研究会もあるが、全体的にはまだ低調で学校をあげて更なる活性化を推進していく必要がある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

農業の六次産業化に積極的に貢献する意欲や実践的技術を身につける。
地域の「農」「食」「環境」問題に積極的に関わる意欲と態度を育成する。
基礎学力の定着を図り、主体的な学習を促し生涯にわたって学ぶ意欲と態度を育成する。
社会人に必要な生活習慣や規範意識、マナー及びコミュニケーション能力を育成する。
部活動や研究会活動、農業クラブ活動、ボランティア活動に積極的に参加する生徒を増やす。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

教科の専門力を高め、確かな学力の定着に向けた授業改善に積極的に取り組む。
生徒とともに部活動や研究会活動等に積極的に関わり、活力のある学校づくりを推進する。
教育目標の実現に向けて、各主任がリーダーシップを発揮し円滑な校務分掌の運営を図るとともに、全教職員が生徒の情報を共有し一丸となって組織的に教育活動に取り組む。

3 今年度の重点目標

地域の環境問題に積極的に関わる意欲と態度を育成する。
学習意欲の向上と基礎学力の定着を図るとともに、進路実現に向けてキャリア教育の充実・強化に取り組む。
社会人として必要な生活習慣や規範意識、マナー等の向上に取り組む。
部活動など課外活動への積極的な参加を促し、活力のある学校づくりに取り組む。